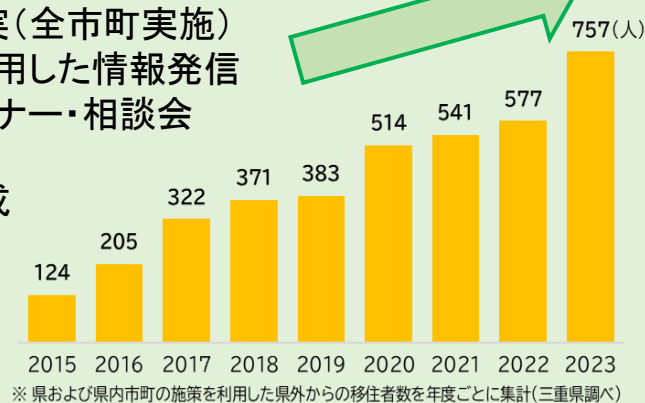


## これまでの取組(～R6)

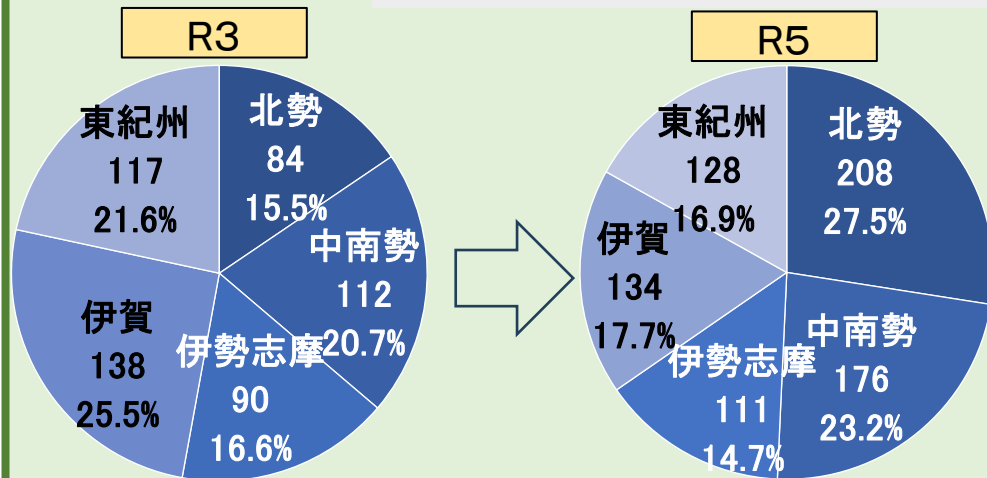
- 南部・過疎地域を中心とした「田舎暮らし」をプロモーション
- 関西圏・中京圏での情報発信
- 移住検討段階別のアプローチ
- 空き家バンクの充実(全市町実施)
- SNS、メディアを活用した情報発信
- 市町と連携したセミナー・相談会の充実
- キーパーソンの育成

増加！



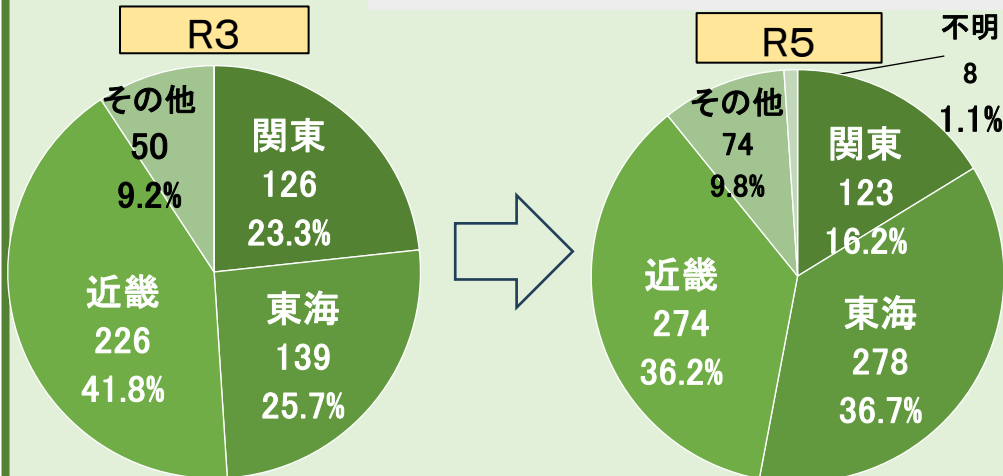
## 移住先の地域

○北勢地域が大幅増、その他の地域も増加傾向



## 移住前の地域

○東海(愛知、岐阜、静岡)が増加  
関東は2割前後



## R7に注力する取組

- 県に移住された方のアンケート分析から、**4つのモデル**(下表)による**ペルソナを設定し、移住希望者のニーズに応じたアプローチを実施、「田舎暮らし」に加えて県全域への移住を促進**
- 首都圏での三重暮らしの魅力発信のため、**県独自の移住フェアを新たに開催**するとともに、東京の移住相談センターを「**美し国みえ移住相談センター**」にリニューアル

## 4つのモデル

	暮らし重視	仕事重視
都市部	<b>①仕事を变えずに移住</b> ペルソナ例)愛知県在住の夫婦。子との3人暮らし。子育てしやすい環境での生活を希望しているが、今の仕事を続けたいため転職は考えていない。	<b>②仕事を見つけて移住</b> ペルソナ例)関西在住の20代後半女性。都会生活から離れ、今の居住地から比較的近い近畿での移住先を仕事優先で検討している。
地方部	<b>④自然環境や暮らしを重視して移住</b> ペルソナ例)関西在住の30代共働き夫婦。フリーランスのまま、憧れの海が見える場所での暮らしを希望。将来、家族が増えることを考え、子育て環境も考慮している。	<b>③やりたいことの実現にむけて移住</b> ペルソナ例)首都圏在住の30代单身男性。企業勤め。自然豊かな場所での農業に憧れがあるが未経験であるため就農サポートが必要。一軒家を希望している。

### (参考) 地域別の移住者傾向

○移住者アンケートを実施、分析により傾向を把握

北勢地域	名古屋での就業など仕事を变えずに移住した30～40代の子育て世代が多く、三重県出身者の比率が高い
中南勢地域	仕事を見つけて移住した若者(20代)、山間部は40代を中心に自営・フリーランスなどのやりたいことの実現にむけた移住がみられる
伊勢志摩地域	県内企業で仕事を見つけて移住(20代)や自営・フリーランスなどのやりたいことの実現にむけた移住(20～30代)が多く、他地域より年代が若い
伊賀地域	自営・フリーランスで起業などやりたいことの実現にむけた移住が多い(40代中心)。移住後に仕事を探す人や関西圏からの仕事を变えない移住もある
東紀州地域	農林水産業(30代～)や自営・フリーランスでのやりたいことの実現にむけて移住(40代中心)、新宮地域での就業など仕事を变えずに移住(30～40代)、自然環境や暮らしを重視して移住する年金生活者も目立つ。